

令和6年度共同企画展 「ぐるっと花巻再発見！～イーハトーブの先人たち～」 を開催します

子どもたちをはじめ、多くの市民に郷土への理解や愛着を持っていただくため、また、観光客など花巻を訪れた方々に花巻の歴史や先人について知っていただくため、花巻ゆかりの先人やその功績について広く紹介し顕彰する共同企画展「ぐるっと花巻再発見！イーハトーブの先人たち」を今年度も開催します。

共同企画展の概要

【開催期間】令和6年12月7日（土）～令和7年1月26日（日）

開催施設名及び期間	展示内容
①花巻新渡戸記念館 「リンゴ博士 しまよしちか 島善鄰」 12月7日（土）～1月26日（日）	島善鄰は1889年、広島生まれ。善鄰8歳の時に父の故郷、花巻に帰ってきました。「リンゴの神様」「リンゴの恩人」と称されるリンゴ研究の第一人者、島善鄰について紹介します。
②萬鉄五郎記念美術館 「東和モンパルナス」 12月7日（土）～2月24日（月・振休）	萬鉄五郎の出身地である岩手県花巻市東和町には、1990年代から現在に至るまで多くの画家や彫刻家、陶芸家たちが移り住み活動の場とするなど、岩手の小さな町を拠点に多彩な表現活動を繰り広げてきました。本展では、パリのモンパルナスに集った画家たちにちなみ、「東和モンパルナス」と銘打って、この町に集った多様な美術家（菅沼緑氏、門馬経臣・優子夫妻など）を紹介します。
③高村光太郎記念館 「光太郎が聴いたクラシックと蓄音機」 12月7日（土）～1月26日（日）	昭和20年5月に花巻へ疎開し、同年秋に太田村へ移住した高村光太郎。留学中に欧米の音楽に触れた光太郎は帰国後もレコードやラジオを通じ、時にはオーケストラによる生演奏でクラシック音楽を楽しんでいました。太田村への移住後、ラジオを入手した光太郎は放送での演奏のほか蓄音機でも音楽を楽しみました。この企画展では、音楽をテーマに光太郎が山の暮らしの中で執筆した詩など、光太郎にゆかりある楽曲や関連する資料を紹介します。
④花巻市総合文化財センター 「縄文ムラの人々」 12月7日（土）～2月11日（火・祝）	花巻市内から出土する埋蔵文化財の7割は縄文時代のものです。本企画展では、縄文の人々のムラ・信仰・生業など考古資料からひもといてみます。

関連事業

①ぐるっと巡る！スタンプラリー

共同企画展開催期間中、開催施設に設置しているスタンプ台紙に各施設の記念スタンプを押して回ります。4館すべてのスタンプを集めた人には、最後にスタンプを押した施設で記念品を差し上げます。

②バスで巡る！花巻の先人ツアー

バスに乗り共同企画展の開催施設4館を1日で回ります。

【日時】12月21日（土）、午前9時30分～午後4時

【定員】20名

【参加料・入館料】無料（昼食は各自準備、弁当持参可）※昼食休憩会場：東和コミュニティセンター

【申込期間】12月1日（日）から12月11日（水）まで（応募多数の場合抽選）

【申込先・集合場所】花巻市文化会館（☎24-6511）

ぐるっと花巻再発見!

～イーハトーブの先人たち～

島善郷

東和モンパルナス

—岩手の小さな町に集った美術家たち—

萬鉄五郎記念美術館

花巻市東和町土沢5区135番地
☎0198-42-4402

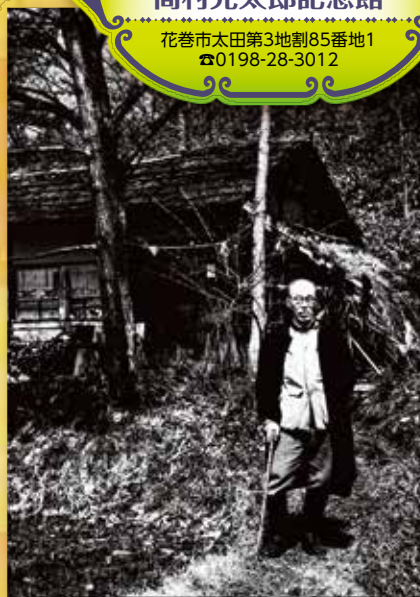


五十嵐彰「Ima-地 四季9」(部分)
アクリル・画布、2015年

光太郎が聴いた クラシックと蓄音機

高村光太郎記念館

花巻市太田第3地割85番地1
☎0198-28-3012

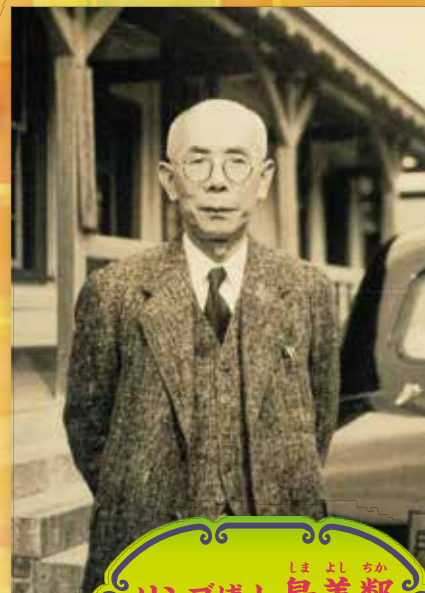


高村光太郎 1946年山荘前 撮影:田村 茂

リング博士 島善郷

花巻新渡戸記念館

花巻市高松第9地割21番地
☎0198-31-2120



縄文ムラの人々

花巻市総合文化財センター

花巻市大迫町大迫第3地割39番地1
☎0198-42-4402



小瀬川Ⅰ遺跡出土の縄文時代中期の土器

令和6年12月7日(土) ▶ 令和7年1月26日(日)

開催
期間中

スタンプラリー

開催期間中、企画展開催館4館達成で
記念品を贈呈します。

バスで巡る! 花巻の先人ツアー

企画展開催館を1日でまわります。

定員
20名

令和6年12月21日(土)

[申込締切:12月11日※] ※応募多数の場合抽選

●昼食は各自ご準備ください ●昼食休憩の場所は東和コミュニティセンターとなります

お申し込み先 花巻市文化会館 ☎0198-24-6511

参加料
入場料
無料



【主 催】花巻市 花巻市教育委員会
【お問い合わせ先】花巻市文化会館 ☎0198-24-6511

びんご 花巻再発見!

～イーハトーブの先人たち～

スタンプラリー

このスタンプ台紙に、各館で設置しているスタンプを押印してください。

- 入館料をお支払いいただいた入場者が参加対象となります。
入館1名につきスタンプ1回押印してください。
- 開催4館(①～④)全館をまわった方に記念品を贈呈します。

※ 記念品は、開催施設4館(花巻新渡戸記念館・萬鉄五郎記念美術館・高村光太郎記念館・花巻市総合文化財センター)で差上げます。
記念品を受け取れるのは、令和7年1月26日(日)までです。

記念品贈呈
チェック欄

1

花巻新渡戸記念館

『リンゴ博士 島善鄰』

島善鄰は1889年、広島生まれ。善鄰8歳の時に父の故郷、花巻に帰ってきました。「リンゴの神様」「リンゴの恩人」と称されるリンゴ研究の第一人者、島善鄰について紹介します。

スタンプ

◆住所 花巻市高松9-21 ◆電話 0198-31-2120
◆会期 令和6年12月7日(土)～令和7年1月26日(日) ◆休館日 12月28日～1月1日
◆入館料 一般300円／小・中・高生150円(20名以上の団体50円引き)

2

萬鉄五郎記念美術館

『東和モンパルナス』

―岩手の小さな町に集った美術家たち―

萬鉄五郎の出身地である岩手県花巻市東和町には、1990年代から現在に至るまで多くの画家や彫刻家、陶芸家たちが移り住み活動の場とするなど、岩手の小さな町を拠点に多彩な表現活動を繰り広げてきました。

本展では、パリのモンパルナスに集った画家たちになぞらえて、「東和モンパルナス」と銘打って、この町に集った多様な美術家26名を紹介します。

スタンプ

◆住所 花巻市東和町土沢5区135 ◆電話 0198-42-4402 ◆会期 令和6年12月7日(土)～令和7年2月24日(月・振替) ◆休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)、12月29日～1月3日
◆入館料 一般400円／高校・学生250円／小・中学生150円(20名以上の団体50円引き)

3

高村光太郎記念館

『光太郎が聴いたクラシックと蓄音機』

昭和20年5月に花巻へ疎開し、同年秋に太田村へ移住した高村光太郎。留学中に欧米の音楽に触れた光太郎は帰国後もレコードやラジオを通じ、時にはオーケストラによる生演奏でクラシック音楽を楽しんでいました。太田村への移住後、ラジオを入手した光太郎は放送での演奏のほか蓄音機でも音楽を楽しみました。

この企画展では、音楽をテーマに光太郎が山の暮らしの中で執筆した詩など、光太郎にゆかりある楽曲や関連する資料を紹介します。

スタンプ

◆住所 花巻市太田3-85-1 ◆電話 0198-28-3012
◆会期 令和6年12月7日(土)～令和7年1月26日(日) ◆休館日 12月28日～1月3日
◆入館料 一般350円／高校・学生250円／小・中学生150円(20名以上の団体50円引き)

4

花巻市総合文化財センター

『縄文ムラの人々』

花巻市内から出土する埋蔵文化財の7割は縄文時代のものです。本企画展では、縄文の人々のムラ・信仰・生業など考古資料からひもといてみます。

スタンプ

◆住所 花巻市大迫町大迫3-39-1 ◆電話 0198-29-4567
◆会期 令和6年12月7日(土)～令和7年2月11日(火・祝) ◆休館日 12月28日～1月3日
◆入館料 一般200円／小・中・高生100円(20名以上の団体50円引き)